

総務省地域経済循環創造事業交付金を活用した 秋田銘醸株式会社への事業性評価融資の決定

株式会社秋田銀行（頭取 新谷明弘）は、秋田銘醸株式会社（代表取締役社長 京野勉、以下、「当社」という。）が実施する「あきた食品産業活性化モデル育成事業^(注)（地域資源活用による健康食品素材の新事業化）」に対し、総務省の地域経済循環創造事業交付金を活用した事業性評価融資を決定いたしました。

当社では、酒造業の技術を活かして、日本酒の製造過程で発生する米糠や酒粕、県内の規格外枝豆等から食品素材を開発することで、事業の多角化や県内の食品産業の活性化を目指しています。

本事業に対して、当社が持つ発酵技術や食品素材としての市場性、県内の食品産業に与える波及効果を高く評価し、融資を決定しました。

当行は、今後も事業性評価融資およびコンサルティング機能の発揮により、秋田県の食品産業の発展に貢献して参ります。

（注） 「あきた食品産業活性化モデル育成事業」

県内の食品事業者が新技術や地域資源を活用し、新たな発想のもとに取り組む商品開発に対して、必要となる初期投資費用を国や県が支援する事業。協調で融資を行う金融機関等と支援チームを設置し、原材料調達から販路開拓まで多方面にわたるフォローアップを行う。

記

1 総務省地域経済循環創造事業交付金について

- （1） 本交付金は、産学官金の連携により地域資源を活かした先進的で持続可能な事業に取り組む事業者に対し、初期投資費用の一部を総務省と自治体が助成する制度です。
- （2） 採択要件として、地域経済の循環効果のほか、高い新規性・モデル性が求められています。
- （3） 金融機関に対しては、無担保・無保証の融資とあわせ、事業により生み出されるキャッシュフローの継続的な把握によるコンサルティング機能の発揮が求められています。

2 支援対象事業について

事業名	あきた食品産業活性化モデル育成事業（地域資源活用による健康食品素材の新事業化）
交付金額	25 百万円
融資額	25 百万円（取引店：湯沢支店）
事業概要	○産学官の研究成果を基に日本酒等の製造過程で発生する米糠や酒粕、県内の規格外枝豆等を活用した食品素材を製造するための設備を整備する。 ○米糠を活用した GABA 粉末や酒粕を活用した酒粕粉末、規格外の枝豆を活用した枝豆粉末は、県産食材を活用した市場性の高い食品素材である。県内の食品事業者がこれらの素材を使用した新商品を開発することで、県内食品産業の発展や地域経済の活性化を目指す。

（以 上）